

しもかわ財団の活動紹介

「つなぎ・ささえ・つくる」

■お問い合わせ

総務企画課 企画調整係 ☎ 4-2511 内線232
しもかわ地域振興機構（通称…しもかわ財団） ☎ 4-3511

地域おこし協力隊は、都市から地方に移住し、その土地で様々な地域協力活動を行いながら定住・定着を図ることを目指した総務省の制度で、多くの自治体が活用しています。

下川町でも積極的に制度を活用し、現在6名が地域おこし協力隊として活動しています。

今回の報告会は、下川町の地域おこし協力隊6名5組が、今どのような活動をしているのか、事業にかける思いなどについて話をしていたいただきました。

当日は現地での参加はもちろん、遠隔地においても参加できるオンラインでの配信も同時に行い、オンライン28名、現地参加者25名の延べ53名の参加がありました。

また、地域おこし協力隊の発表後には参加者が協力できる支援内容、質問、応援メッセージが多数寄せられ、それに対して発表者が回答するなど事業の説明に対してのやり取りがありました。

今回は、報告会終了後に会場撤収まで余裕をもったスケジュールを組んでおり、終了後は参加者と発表者が談笑したり、取組について話をするなどの様子が会場内のあちこちで見られました。

▼メッセージ一部抜粋

・まさに社会問題を解決していることで素敵です。

・この地域独特の味がするビールこれからも味の変化を楽しみにしています。

・ご夫婦の前職でのご経験が農業とどんな化学反応を起こすのか楽しみです！

・お二人が来られてから鳥獣対策が身近に感じられるようになりました。いつもありがとうございます！

・少子化、人口減、高齢化、財政…、地方は疲弊しています。ぜひ地方創生お願いします。



活動報告会の動画や質疑応答への回答はコチラ



空き家コーディネーター：菅原睦美さん

（2025年3月をもって卒業、しもかわ財団で空き家担当として引き続き勤務）

宮城県出身。2022年地域おこし協力隊着任。

しもかわ地域振興機構に所属し、空き家の総合相談窓口を担当。町内物件の活用と流動化推進のため、引き継ぎたい物件と使いたい人のマッチングをメインに相談者の事務的サポートに取り組み、空き家の再生でまちづくりの一助を担う。



鳥獣対策支援員：澁谷麻斗さん

高知県出身。2023年2月地域おこし協力隊着任。

野生動物の管理や被害防止のため、役場産業振興課で鳥獣被害対策業務を担当。電気柵の設置やヒグマ・アライグマ対応、エゾシカ捕獲や捕獲した個体の有効活用促進等を行っている。



鳥獣対策支援員：森俊輔さん

神奈川県出身。2023年4月地域おこし協力隊着任。

生物多様性の保全や野生動物との共生に興味があり、個体数の管理や生息環境の保全に直接関わるため、役場産業振興課で鳥獣被害対策業務を担当。電気柵の設置やヒグマ・アライグマ対応、エゾシカ捕獲や捕獲した個体の有効活用促進等を行っている。



農業支援員：杉木智子さん

夫勝哉・愛知県出身、妻智子・兵庫県出身。2024年に地域おこし協力隊着任。子1人の家族3人で兵庫県明石市から移住し、2027年の新規就農を目指す。 昨年は親方の元でフルーツトマトの半養液栽培をはじめとした営農技術を学び、今年は研修道場で1から実践を行っている。



ベアーズ地域課題解決型：菅沼亮輔さん

長崎県出身。2025年4月しもかわ財団に地域おこし協力隊として着任。地域の皆さんが感じている困りごとや不便をお聞きし、一緒に解決策を考えていきたいと思っています。また、行政改革を進め、より効率的で地域のために働く行政を目指したいです。どんな小さなことでも、お気軽にご意見をお聞かせください。



シモカワベアーズ：中村隆史さん

（2025年3月をもって卒業、引き続き町内でクラフトビール事業を実施）

北海道札幌市出身。2022年ベアーズ着任。

クラフトビールを提供するブルーパブ（店内に醸造所を併設し、造りたてのビールが飲める店）を開業し、「しもかわ森のブルワリー」をオープン。事業理念は“ビールによって人と人をつなぎ、笑顔があふれる暮らしに貢献する”こと。

